小学校第６学年

国語　A

注　意

１　先生の合図があるまで、中を開かないでください。

２　調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は１ページから11ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、１ページから10ページまであります。

３　解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

４　解答は、ＨＢまたはＢの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。

５　解答時間は、次のとおりです。

・国語Ａ　20分間
・算数Ａ　20分間

※それぞれの時間になったら、合図があります。
※国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
※解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

６　机の上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

1

一　次の(1)から(3)までの文の――部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

(1)　音楽室に　移動　する。

(2)　すばらしい　演技　におどろく。

(3)　むだを　省　くようにする。

二　次の(1)から(3)までの文の――部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1)　庭に　うめ　の木を植える。

(2)　カラスの数が　ひじょう　に多い。

(3)　部屋の　おんど　を記録する。

2

長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味が分かりやすくなります。［　　］の中の文で、主語を示す ～～～ 部**ア・イ**の述語に当たるものを、――部**1**から**4**までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

（例）

みんなが植えた木は、どんどん育った。

（主語）　（述語）

［
アわたしは、アサガオの青い イ花が次から次へと 1さいて、やがて黒い色を 2した たくさんの種が 3できるまでの様子を毎日 4観察した。
］

アわたしは

→ □

※解答は、解答用紙に書きましょう。

イ花が

→ □

3　次は、体育委員の村山さんが学校のみんなにすすめる遊びについて、スピーチをしたものです。村山さんのスピーチを内容の取り上げ方の面から見ると、どのようなところがよいですか。その説明として最もふさわしいものを、あとの**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【村山さんがスピーチをした内容】

わたしは、長なわとびをすすめます。長なわとびは、学級のみんながいっせいに楽しむことができる遊びで、人数が多ければ多いほどもり上がります。

長なわとびの遊び方は、学年に合わせていろいろなとび方や回し方をくふうすることができます。上の学年では、とぶ回数を競い合うようにすると、目標に向かってみんなで力を合わせることができます。下の学年では、長なわをゆっくりと左右にゆらしながらとぶようにすると、苦手な人も楽しく遊ぶことができます。

ぜひ学級全員で遊んでみてください。

1　実際に遊んだことがある人の感想や意見を取り上げているところがよい。

2　多くの人が楽しむことができる方法を取り上げているところがよい。

3　みんなで遊ぶときのきまりや約束ごとを取り上げているところがよい。

4　自分が成功したり失敗したりしたことを取り上げているところがよい。

4 次は、中西さんが放送委員としての一年間の目標について書いた文章です。［ア］・［イ］・［ウ］の中に入るふさわしい言葉を、あとの**1**から**5**までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【中西さんが書いた一年間の目標】

わたしは、放送委員としての一年間の目標を二つ立てた。

一つは、みんなが時間に合わせて学校生活を送ることができるように、放送をする時こくをしっかりと守ることである。［ア］、朝や昼、帰りに放送をする時こくをメモに書き、こまめに時計を見て確かめようと思う。

［イ］、放送を聞いている人に、内容を正しく伝えることができるように、話し方をくふうすることである。そこで、放送をする前に、原こうを読む速さや間の取り方を練習しようと思う。

［ウ］、二つの目標の達成を目指して、一年間努力していきたい。

1 以上のように
2 その理由は
3 そのために
4 反対に
5 もう一つは

5

次は、新聞委員の北川さんが「一年生をむかえる会」の様子を伝えた、学校新聞の記事の下書きの一部です。――部を「一年生が」を主語にして書きかえます。あとの［　　］の中に入るふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きましょう。

【北川さんの下書きの一部】

元気いっぱい一年生　みんなの仲間入り！

四月十二日、きれいにかざった体育館で「一年生をむかえる会」がありました。進行係の合図のあと、六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。体育館いっぱいにひびきわたるたくさんのはく手。九十二人の一年生は、みんなにこにこ顔。

～（下書きが続く）～

※解答は、解答用紙に書きましょう。

一年生が、［　　］、体育館に入場してきました。

6

次は、小池さんが住む糸野市で行われた、「図書祭り」について書かれた新聞の記事です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

読書の楽しさ広がる　糸野市　図書祭り

A

B

本の街、糸野市で19日から3日間、「図書祭り」が開催された。会場となった糸野市立図書館周辺では、祭りの名物となっている朗読大会や登場人物当てクイズなどのさまざまなイベントが開かれ、盛り上がった。

感情豊かに絵本を朗読する参加者

C

今年で3回目を迎える「図書祭り」には、市内外から昨年を約300人上回る約1200人もの参加者があり、例年以上のにぎわいを見せた。

会場周辺の道路は歩行者専用になり、本や作家の色紙を売る店が並んだ。地域交流館では、午前と午後に分け、登場人物当てクイズなどが催された。

特に人気だったのが朗読大会。プロの声優顔負けの朗読をした同市の小畑陽二さん（12）は、「みんなから大きな拍手をもらってとてもうれしかった。これからもいろいろな本の朗読に挑戦したい」と笑顔。

祭りを企画した図書館長の平原直子さん（55）は、「年々、市立図書館の利用者数が少なくなっているが、この祭りを通して、読書をする楽しみをいろいろな形で感じてもらえたと思う。このことが利用者数の増加につながればうれしい」と声をはずませていた。

一　小池さんは、この記事の中の A ・ B ・ C の三つの関係について考えました。三つの関係の説明としてふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　記事の中で最も伝えたかった内容を A で示し、それに賛成する考えを B 、反対する考えを C に書いている。

2　記事として取り上げた内容の中で最も古い事実を A で示し、次に起こった事実を B 、その次を C と順番に書いている。

3　記事の中で問題となっている事実を A で示し、それを解決するための具体的な方法を B と C に書いている。

4　記事の内容を短い言葉で見出しにして A で示し、その内容を B から C へとだんだんくわしく書いている。

二　小池さんは、この記事を読んで、糸野市立図書館において問題となっている事実が示されていることに気付きました。それは、どのような事実ですか。本文中の言葉を使って書きましょう。

7　次は、ある野原でのちょうちょとハンカチの様子を表した、「ちょうちょとハンカチ」という詩です。野口さんは、この詩を読んだ感想をノートにまとめました。［　ア　］の中に入るふさわしい言葉を、詩の中からぬき出しましょう。

ちょうちょとハンカチ

（宮澤章二『知らない子』による。）

【野口さんがまとめた感想】

ちょうちょとハンカチは、それぞれに相手を「しろいもの」として見ている。その上で、ちょうちょは、ハンカチのことを上から見て、「［　ア　］」と思っている。一方、ハンカチは、ちょうちょのことを下から見て、「かぜのこどものハンカチ」と思っている。

ちょうちょとハンカチがどちらも白い色をしていたことで、おたがいに仲間だとかんちがいをしているところがおもしろい。

（宮澤章二『知らない子』による。）

8

国語辞典では、言葉が五十音順に並(なら)んでいます。また、形が変わる言葉は、言い切りの形で出ています。次の問いに答えましょう。

一　次の1から4までの言葉を国語辞典で調べます。最初に出てくる言葉を選んで、その番号を書きましょう。

1　電柱(でんちゅう)
2　鉄道(てつどう)
3　鉄筋(てっきん)
4　電車(でんしゃ)

二　「明日の試合にそなえて早くねる」の中の――部の言葉について調べます。国語辞典では、どのような言葉にして調べるとよいですか。ひらがな四文字で書きましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

9

次は、松本さんがお世話になった花屋の人に出す、お礼の手紙の下書きの一部です。清書をするとき、この下書きのどの言葉を、どのように書き直せばよいですか。その説明としてふさわしいものを、あとの**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【松本さんの下書きの一部】

先日は、花のなえの植えかえについて、いろいろなお話をしてくださって、本当に**ア**ありがとうございました。とても**イ**勉強になった。植えかえたあとの水やりの仕方などに気を付けないと、根がしっかりはらないことが**ウ**あるということについてよく**エ**分かりました。

～（下書きが続く）～

1　――部**ア**は、大げさな言葉づかいになっているので、「ありがとう」としたほうがよい。

2　――部**イ**は、ていねいな表現になっていないので、「勉強になりました」としたほうがよい。

3　――部**ウ**は、相手に対して失礼な表現になっているので、「あります」としたほうがよい。

4　――部**エ**は、自分の考えを明確に言い切っていないので、「分かった」としたほうがよい。

これで、国語Ａの問題は終わりです。

注　意

合図があるまで、次のページを開かないでください。